

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 3年度							
事務事業名	図書館運営事業（政策）						事業類型	管理・運営
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令 図書館法 かすみがうら市立図書館条例
			10	04	04	03	政策経費	
総合計画体系	6. 豊かな学びと創造のまちづくり						総合計画対象	対象
	(2) 生涯学習の充実						市民協働	行政主体
	1 生涯学習						担当課係等	図書館
③生涯学習施設の整備充実								図書館
事業期間	継続（平成27年度～）							

現状把握の部 (D0)

【目的】 市民の生涯学習を推進するために、社会教育の中核施設として資料や情報の提供を中心に、多様化する住民ニーズに応じられるよう、きめ細やかな奉仕活用を展開します。	【関連事業】 蔵書整備事業
【期待される効果】 情報に自由にアクセスする環境を整備することで、市民の情報格差をなくします。	【対象者】 市民および近隣（土浦市・石岡市・行方市・小美玉市・茨城町）住民
【全体概要】 多様化する住民ニーズに対応できる各種図書情報の提供、読書週間作品展示、小学生の一日図書館員など図書館を身近に感じてもらう各種事業、読み聞かせや朗読などボランティアグループや読書会など活動団体の支援などに取り組み、利用しやすく、親しめる図書館を目指します。	【特記事項】
【令和 2年度 事業内容】 図書の貸出、図書検索情報提供、図書館協議会、朗読ボランティア育成講座、読書週間記念作品募集及び表彰。 館内環境改善工事。 会計年度任用職員の採用。	【令和 3年度 事業内容】 図書の貸出、図書検索情報提供。 ボランティア活動支援。 読書週間作品募集表彰。 不要図書のリサイクル。
【令和 4年度 事業内容】	

■事業費

		R02年度	R03年度	R04年度	
財源	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	一般財源・その他	29,321	15,091	0	
歳入計（千円）		29,321	15,091	0	
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）	
	01 報酬	10,114	10,288	0	
	03 職員手当等	1,452	2,073	0	
	04 共済費	1,950	2,056	0	
	07 報償費	72	129	0	
	08 旅費	381	453	0	
	10 需用費	58	13	0	
	11 役務費	14	12	0	
	12 委託料	619	55	0	
	14 工事請負費	12,539	0	0	
	17 備品購入費	2,088	0	0	
	18 負担金、補助及び交付金	34	12	0	
歳出計（千円）（A）	29,321	15,091	0		
（参考）	当初予算額	30,711	当初予算額	18,016	
職員人工数	0.50	0.40	伸び率(%)	決 皆減 予 皆減	
職員人件費（B）	3,891	3,113		0	
総事業費（A）＋（B）	33,212	18,204		0	

■指標

種類	指標名	単位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標	司書若しくは経験者など専門的知識を持つ図書館職員の人数	人	目標	6.00	6.00	0.00
			実績	5.00	4.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	図書等貸出し冊数（本館・分館含）	冊	目標	92,000.00	93,000.00	0.00
			実績	72,297.00	76,753.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部（SEE）

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 総合計画第2編第3章基本目標6 豊かな学びと創造のまちづくりに当てはまる。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 社会教育の中核機関として資料や情報の提供を行う必要がある。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 インターネットによる情報の発信を強化することで、図書館資料の貸出促進が図られる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 図書資料の収集・貸出は公共図書館の役割である。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 学校図書室との連携を図り、利用拡大につなげていく。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 開館時間の延長を短縮することで、千代田分館等への本の配達・回収、レファレンスサービス等他の業務の充実を図ることができる。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 図書利用カード再発行手数料は受益者負担に基づいている。また、図書館無償利用は公共図書館の役割である。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	図書館ホームページを最大限活用し、図書館の利用拡大を図る。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 記入者：生涯学習課長 齋藤 健 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 図書館のホームページ及びSNS等による情報発信の強化を図り、図書利用の拡大を図る。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 記入者：教育部長 坂本 重男 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 図書館のホームページ及びSNS等による情報発信の強化を図り、図書利用の拡大を図る。		

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 3年度								
事務事業名	蔵書整備事業（政策）						事業類型	管理・運営	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	図書館法 かすみがうら市図書館条例
			10	04	04	05			
総合計画体系	6. 豊かな学びと創造のまちづくり						総合計画対象	対象	
	(2) 生涯学習の充実						市民協働	行政主体	
	1 生涯学習						担当課係等	図書館	
③生涯学習施設の整備充実						図書館			
事業期間	継続（平成27年度～）								

現状把握の部 (D0)

【目的】 市民の生涯学習を推進するために、社会教育の中核機関として資料や情報の提供を中心に、多様化する住民ニーズに応じられるよう、図書館資料の充実を図ります。	【関連事業】 図書館運営事業	
【期待される効果】 市民の「知る権利」を保障します。	【対象者】 市民および近隣（土浦市・石岡市・行方市・小美玉市・茨城町）住民	
【全体概要】 稼働率の高い本の購入と郷土資料の充実を図ります。また、郷土にゆかりのある作家・詩人等を収集・展示することで、本図書館の価値を高め、相互貸借の貸出増加につなげます。	【特記事項】	
【令和 2年度 事業内容】	【令和 3年度 事業内容】	【令和 4年度 事業内容】
<ul style="list-style-type: none"> ・図書・視聴覚資料の購入 ・蔵書点検作業 ・不用図書の除籍・リサイクル 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書・視聴覚資料の購入 ・蔵書点検作業 ・不用図書のリサイクル 	

■事業費

		R02年度	R03年度	R04年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	6,195	5,858	0
歳入計（千円）		6,195	5,858	0
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	17 備品購入費	6,195	5,858	0
歳出計（千円）（A）		6,195	5,858	0
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 皆減 予 皆減
職員人工数		0.35	0.40	0.00
職員人件費（B）		2,724	3,113	0
総事業費（A）＋（B）		8,919	8,971	0

■指標

種類	指標名	単位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標	不要図書【除籍図書】の有効活用冊数 リサイクル、ミニ文庫への活用	冊	目標	3,500.00	3,500.00	0.00
			実績	6,145.00	4,052.00	0.00
	蔵書点検日数（本館、分館） 本館6日、分館3日		目標	9.00	9.00	0.00
			実績	10.00	9.00	0.00
成果 指標	図書蔵書数（本館、分館）	冊	目標	134,500.00	134,000.00	0.00
			実績	132,866.00	132,789.00	0.00
	図書等貸出冊数（本館、分館、中央出張所）		目標	92,000.00	93,000.00	0.00
			実績	72,297.00	76,753.00	0.00

評価の部（SEE）

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 総合計画第2編第3章基本目標6豊かな学びと創造のまちづくりに当てはまる。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 社会教育の中核機関として資料や情報の提供を行う必要がある。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 蔵書数を増加させることで、図書の選択肢を増やし、貸出数の増加につなげることができる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 図書資料の収集・貸出及び郷土資料の収集は公共図書館の役割である。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 類似事業がない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。（仕様や工法の適正化、市民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 蔵書数を増進していくことが、図書館学の五法則のひとつである『図書館は成長する有機体である』に適うと思われる。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 図書複写サービスは受益者負担に基づいている。また、図書館無償利用は公共図書館の役割である。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	今後も図書館利用者の増加を図るべく、稼働率の高い本の購入及び郷土資料の充実を図る。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 記入者：生涯学習課長 齋藤 健		
改革・改善の具体的な内容（改革案・実行計画） 図書館の利用促進を図るため、利用者から要望等の情報を収集し、稼働率の高い図書購入と不要図書の除籍とリサイクルに努める。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 記入者：教育部長 坂本 重男		
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 図書館の利用促進を図るため、利用者から要望等の情報を収集し、稼働率の高い図書購入と不要図書の除籍とリサイクルに努める。		

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 3年度								
事務事業名	ブックスタート事業（政策）						事業類型	広報・啓発	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	なし
			10	04	04	07	政策経費		
総合計画体系	5. 未来を担う若者を育むまちづくり						総合計画対象	対象	
	(1) 次世代の育成支援						市民協働	行政主体	
	1 児童福祉						担当課係等	図書館	
①教育・保育サービスの充実						図書館			
事業期間	継続（平成27年度～）								

現状把握の部 (D0)

【目的】 親子のきずなを深め、本の好きな心豊かな子どもを育成する一助となるよう、家庭での絵本の読み聞かせを習慣とするきっかけづくりとして実施する。	【関連事業】 母子保健事業	
【期待される効果】 子育て支援と図書館利用推進	【対象者】 市内在住4ヶ月児の保護者	
【全体概要】 赤ちゃん訪問の際、保健師からブックスタートパックとして絵本を手渡してもらう。その際、絵本の読み聞かせの大切さを説明し、絵本やアドバイスをパックにして手渡す。	【特記事項】	
【令和 2年度 事業内容】 絵本、イラスト・アドバイス集、バックの配布	【令和 3年度 事業内容】 絵本、イラスト・アドバイス集、バックの配布	【令和 4年度 事業内容】

■事業費

		R02年度	R03年度	R04年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	373	359	0
歳入計（千円）		373	359	0
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	10 需用費	373	359	0
歳出計（千円）（A）		373	359	0
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 皆減 予 皆減
職員人工数		0.10	0.20	0.00
職員人件費（B）		779	1,557	0
総事業費（A）＋（B）		1,152	1,916	0

■指標

種類	指標名	単位		R02年度	R03年度	R04年度
活動指標	ブックスタート実施回数	回	目標	12.00	12.00	0.00
	年間のブックスタート実施回数		実績	13.00	13.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	4か月検診参加親子でブックスタートバックを受け取った割合	%	目標	100.00	100.00	0.00
			実績	88.17	82.92	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 総合計画第2編第3章基本目標6豊かな学びと創造のまちづくりに当てはまる。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 本に親しむ機会を作るのは、行政の役割のひとつである。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 保健部局との連携による現行運用は妥当と思われる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 無くしてしまえば本に親しむ機会が失われる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 現行の保険部局との連携による事業推進は適当と思われる。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 現状では提供する図書代だけの計上であることからコストの削減は難しい。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 受益者への負担はない。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	今後とも保健部局と連携を図り事業を継続していく。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 記入者：生涯学習課長 齋藤 健 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 生涯学習の概念及び図書を身近に感じるために、健康づくり増進課と連携して対象者全員に配布する。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 記入者：教育部長 坂本 重男 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 図書に親しむことと、継続した図書館の利用を促進するため事業を継続していく。		